

卵巣癌(進行・再発) 2nd Line(プラチナ耐性又は使用できない患者)  
PTXweek 1y+Bevacizumab療法

( )コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

アルコールアレルギー ※必ず  
無しを確認

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 28日

使用基準: 開始時; class B、2回目以降; class C

- ※ 咯血 (2.5mL以上の鮮血の咯血) の既往のある患者には禁忌。
- ※ 消化管穿孔の発現リスクが高いと考えられる患者への適応は十分に検討すること。  
消化管など腹腔内の炎症を合併している患者、3レジム以上の化学療法前治療歴のある患者。
- ※ 投与前に凝固系 (PT-INR, D-ダイマー, APTT等) の検査を実施し、投与中も必要に応じ検査を行うこと。
- ※ ベバシズマブ添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。
- ※ 原則、埋め込み式ポート挿入後1週間以上、腹部手術前後は6週間以上空けて投与。
- ※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。

《使用薬剤》

パクリタキセル (PTX) : パクリタキセル (1V: 30mg/5mL, 100mg/16.7mL)

ベバシズマブ (BEV) : ベバシズマブ (100mg/4mL, 400mg/16mL)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1, 8, 15, 22
ベバシズマブ	10 mg/kg	#VALUE!		1, 15

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day	日	時刻	薬剤	投与量	投与日
day1	1月1日 (金)	0時00分	① 生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg 1V ※デキサート初回は6.6mg、2回目以降は3.3mg (1.65mg×2A) 可、半量ずつ1.65mg×0.5Aまで減量可 15分かけて点滴静注		
		0時15分	② 生理食塩液 100mL 30分かけて点滴静注		
		0時45分	③ 生理食塩液 250mL + パクリタキセル 0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する 1時間かけて点滴静注	mg	0.0ml
		1時45分	④ 生理食塩液 100mL + ベバシズマブ 90分投与 (初回は90分、2回目以降は60分・30分に変更可)	mg	0.0 mL
		3時15分	⑤ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)		
day8	1月8日 (金)	0時00分	① 生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg 1V ※デキサート初回は6.6mg、2回目以降は3.3mg (1.65mg×2A) 可、半量ずつ1.65mg×0.5Aまで減量可 15分かけて点滴静注		
		0時15分	② 生理食塩液 100mL 30分かけて点滴静注		
		0時45分	③ 生理食塩液 250mL + パクリタキセル 0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する 1時間かけて点滴静注	mg	0.0ml
		1時45分	④ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)		
day15	1月15日	は	1月1日	と同様に行う	
day22	1月22日	は	1月8日	と同様に行う	

※ ①と③の間は少なくとも30分間隔をあけて投与

REFERENCE

Eric Pujade-Lauraine, Felix Hilpert, Beatrice Weber, et al: J Clin Oncol 32:1302-1308

Bevacizumab Combined With Chemotherapy for Platinum Resistant Recurrent Ovarian Cancer: The AURELIA Open Label Randomized Phase III Trial

2017年11月度化学療法プロトコル委員会承認: 2017年11月13日